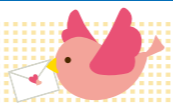




情報コーナー



6月定例会で採択された主な政策、制度改正の内容についてお知らせします。詳しくは、市報やホームページで確認ください。お願いします。

萩山公園整備工事請負契約

●ポイント

令和3年に国立大学法人お茶の水女子大学から、都市計画公園萩山公園用地として購入した萩山公園の一部が、基本計画、基本設計、令和5年度の実施設計を経、いよいよ整備事業が始まる。質疑から以下の点が明らかとなった。

○令和6年度工事区域内の解体撤去施設の中に、既存のプレハブ建物が含まれていない。指定管理者によるPark-PFI事業提案にある敷地内の既存の建物をリノベーションしてイベント等に有効活用するとしていたが、変更となったのか。「公園びらき装置」事業の実施への影響はないのか。

⇒指定管理者が既存建物を解体し、新たに建物を設置する。公園北側部分の整備は6年度中に行い、令和7年度から北側部分の開設を予定している。

○災害時の防災拠点となることから、避難ゾーンについてはよりオープンにしないと災害時の障害となるものとする。将来的に四季の森公園との一体的なオープンスペースとする計画となっているが、どう整理されているのか。また、今回の整備計画では、萩山公園への進入動線はどうなるのか。

⇒公園西側(ざわざわ森)からの出入りがメインで、多摩湖自転車歩行者道側からの安全面への配慮から一か所の出入口を設ける。

○防災倉庫を設置することであるが、近隣自治会が自主防災倉庫の一部機能として利用することを要望している考えを伺う。

⇒今後、近隣自治会とも検討してまいりたい。

萩山公園が一日も早く、子どもから大人まで誰もが楽しみ、魅力ある公園に生まれ変わるよう、今後も取り組んでまいります。



2024年度夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操会

東村山市市制施行60周年記念事業の一環として、夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操会が当市にやってきます。当日は、NHKラジオ第1で全国に生放送されます。多くの市民で会場をいっぱいにしませんか。先着順です。会場へ直接お越しください。

日時：7月26日(金) 午前6時～【荒天中止】

会場：東村山市運動公園(東村山市恩多町1-51-1) 問合せ先：東村山市市民スポーツ課



誠実、真心、確かな実行力

東村山市議会議員 2019年初当選 2023年2期目

＜所属＞
生活文教委員会委員長
議会運営委員会委員
東村山市総合計画審議会委員
東村山市民生委員推薦委員会委員長

職歴
経済産業省・中小企業庁職員

地域活動
南萩会自治会長
萩山小学校学校運営協議会 会長
萩山小学校避難所運営連絡会 会長
萩山ファンクラブ実行委員長
NPO法人萩山町地域まちづくり 理事長
東村山市ソフトボール連盟 会長
東村山ティーボール連盟理事
日本ティーボール協会理事
萩山町保健推進員
東村山市福祉協力員

保護司 中小企業診断士



下沢ゆきおプロフィール

みなさんのご意見・ご要望をお聞かせください。

令和6年9月定例議会

8月27日	定例会初日
29日	
～30日	一般質問
9月2日	
4日	常任委員会
～10日	
12日	決算特別委員会
～19日	
27日	定例会最終日



東村山市議会議員

下沢ゆきお議会報告



vol.15

東村山市萩山町1-32-43
TEL・FAX ▶ 042-348-8682
E-mail ▶ contact@shimozawa-yukio.net

盛夏の候、皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。平素から、暖かいご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございます。さて、東京都知事選も終え、地域経済、都民生活がどのように良くなるのか期待するところですが、物価やエネルギー価格高騰により、市民生活、事業経営、さらには地域経済への影響は依然厳しい状況が続いています。

そのような中、東村山市議会では、5月23日の臨時議会で、マイナンバーによる情報連携が可能な事務を整理するための改正条例が、6月定例議会では、東村山駅西口公益施設の指定管理者の指定や萩山公園整備工事請負契約等の議案の審議が行われ、可決成立しました。

本号では、主に一般質問で取り上げた「旧第二保育園・萩山第二児童遊園周辺の整備」と「学校図書館整備による教育環境の充実」に係る内容を中心にご紹介します。

現下の厳しい状況乗り越え、市民や事業者の皆様が安心・安全な暮らしができるよう日々取り組んでまいります。皆様のご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。



東村山市議会議員

下沢ゆきお

令和6年5月臨時議会・6月定例会を振り返る

○本会議：臨時議会(5月23日)、定例会(6月3日初日)所信表明、萩山公園整備工事請負契約等の議案審議。また、一般質問(6月6日)、生活文教委員長報告(6月25日)を行う。

○生活文教委員会：委員長として、「東村山市税条例の一部を改正する条例」の審議、行政報告(6月13日)。

○議会運営委員会・協議会：議会運営に関する協議(5月16日、23日、27日、6月3日、24日)、議会基本条例の検証(5月9日、6月18日、7月11日)

○審議会 その他：東京都四市競艇事業組合議会・東京都11市競輪事業組合議会臨時議会、四市競艇事業組合議会副議長に就任(5月22日)、関東地区競艇主催地議会協議

会(5月27日)、全国競艇主催地議会協議会定期総会(6月27・28日)、東村山市議会議会報告会(5月17日)、民生委員・児童委員委嘱状伝達式(4月4日)、民生委員推薦委員会(7月11日)。



生活文教委員長として議場で報告する下沢ゆきお議員

議会で取り上げた
テーマ

住みやすいまちづくりと教育環境の充実 一般質問

各議員が日頃から感じている疑問、新たな行政課題への対応など「市の一般事務」について『質問』の機会が与えられます。今回は、以下のテーマで質問しました。今後も市民の皆様が安全・安心に暮らせるまちづくりのため、皆様の声を議会で取り上げてまいります。

一般質問する下沢ゆきお議員 ▶



下沢 ゆきお 議員

旧第二保育園・萩山第二児童遊園周辺の整備

●ポイント

公共施設再生の第一号ともいべき旧市立第二保育園跡地が売却された。今後、宅地開発されることになるが、売却内容や隣接する萩山第二児童遊園周辺の道路環境の整備など今後のまちづくりの考え方など、以下のとおり明らかとなった。

○売却の経緯、内容は以下のとおり。

・売却は、インターネット公有財産売却システムによる一般競争入札

・令和6年1月17日から2月5日まで参加申込の受付、申込書類の審査、入札保証金の納付確認後、入札資格を付与

・入札期間は、2月19日から2月26日まで、2月28日に開札し落札者決定

・契約締結日や売買代金の納入等の調整を経て、3月21日に売買契約締結

・入札保証金件数及び入札者数は1件、落札者は小平市の事業者、落札価格は3億4,139万円(落札者は当初未公表であったが、その後誠賀建設(株)と判明)

○保育園跡地の一部を道路区域に拡幅することを入札時の条件としたことは、住民福祉の向上につながるもので、地元の要望が反映されたことは高く評価。今後の当該地の開発行為の予定を伺う。

回答(担当部長) 開発区域内の道路に関する協議書が提出されており、その中の事業計画書では工事期間は着手8月上旬、11月下旬完了の予定。

○萩山第二児童遊園西側に接する市道第323号線1の路線について、多摩湖自転車歩行者道との交差箇所までの間、旧第二保育園西側同様に拡幅整備することは、地域福祉やまちづくりの観点から必要と考えている。

本市として、都市デザイン監の助言も踏まえ、関係所管横断的にどのような検討がなされ、現時点でどのような構想を描いているのか伺う。

回答(担当部長) 新たな歩行空間が設置されること

を受け、道路所管並びに公園所管で現在も協議をしている。萩山第二児童遊園を活用してどのような歩行空間ができるのか課題も含めて検討を進めている。今後方針が定まったら必要に応じて都市デザイン専門監の助言などを得てより良い環境となるよう進めてまいります。

○当該整備構想を進めるにあたって、周辺の子どもを含む近隣住民、利用者等の意見を十分に把握することや東京都との協議等一定のプロセスを経る必要があると考える。具体的にどのような課題があるのか伺う。

回答(担当部長) 整備を予定している2メートルの歩道部を歩道形態のまま萩山第二児童遊園内に園路として延長した場合、主な公園専用物件として防災行政無線、公衆電話ボックス、自治会防災備蓄倉庫などの多くの専用物件があるため、施設に関する協議、施設工事が新たに発生する。

また、北側の都営住宅側の歩道との連続性を持たすためには、多摩湖自転車歩行者道に設置してある管理柵の撤去及び工事等が必要になるため、東京都の調整が必要になる。

さらに、公園内には高低差があるため、新たな土留めの設置も必要となる。設計や施工費については、市の負担となり課題と捉えている。



旧第二保育園跡地の現状

これらを進めるにあたり、指定管理者との協議を始め、公園利用者周辺住民への説明、交通管理者等との協議が必要となるが、まずは市としての意思決定がなされた後に検討を進めていきたい。

○地域交流の拠点、憩いの空間、にぎわいの創出につなげるためにも当該地域の環境整備は重要と考える。市長のお考えを伺う。

回答(市長) 現在、指定管理者の方で昨年度今年度にかけて実態調査をして、それぞれの声について、今後どのような維持補修や整備をするかを検討しなければならない。第二児童遊園周辺の整備また公園にも歩道スイッチをするとかなり大規模な工事をしなければならない。その可否も含めて検討させていただきたい。

学校図書館整備による教育環境の充実

●ポイント

文部科学省では、公立小中学校等の学校図書館で整備すべき蔵書冊数(図書標準)の達成・更新、新聞の複数紙配備、学校司書の配置拡充を図るため、令和4年度から令和8年度を対象期間とする第6次「学校図書館図書整備等5か年計画」(以下「学校図書館整備計画」)を策定し、学校図書館の整備充実に向けている。本市における学校図書館整備計画の進捗について質問した。

○本市における学校図書館整備計画で掲げる3つの目標について、取組状況を伺う。

回答(担当部長) 令和5年度に実施した蔵書計画調査委託の結果なども活用して量と質を伴った図書の充実を進めている。司書の配置については、学校図書館専任の配置を拡大し、令和6年度をもって第3中学校萩山分校を除き、全小中学校で配置できる。新聞の配備については、中学校では複数紙を取っているが、小学校は一紙である。

○学習指導要領では新聞を教材として活用することが位置づけられている。市内の教育現場では、新聞をどのように活用しているのか伺う。

回答(担当部長) 学校図書館がラップした新聞記事を教室や廊下等に掲示して、児童生徒が日常的に新聞記事に触れる機会を設けている。記事の内容につきましては、SDGsに関することや時事問題内容等関連付けて児童生徒に関心を持たせたい事柄などを取り上げている。

掲示する際には、新聞記事に関する情報を補足したり、イラストを加えたりするなどして、児童生徒が新聞記事の内容についてより理解を深められるように工夫している学校も多く見られる。また朝学習で新聞記事を読む取り組みを実施している学校もあり、国内外の情勢や多様な分野の情報に興味、関心を抱いたり、視野を広げたりすることに役立っている。

○新聞複数紙の配備に関し、先進事例として葛飾区教育委員会で行っている「葛飾方式」がマスコミに取り上げられている。この方式の導入により、これま

での学校単位での新聞購読契約から、同委員会事務局での一括契約する方式に変えたことで、学校事務の効率化や新聞を導入しやすい環境づくりへとつなげる点を挙げている。本市において、目標達成に向けどのように取り組んでいくのか。

回答(担当部長) 主権者として必要な資質、能力を身に付けるために新聞を配備し、授業等で活用することはとても意義があるものと認識している。また、葛飾区教育委員会では実施しているいわゆる一括購読契約は、児童生徒の教育だけではなく、事務の効率化による教員の働き方改革など複数の課題を同時解決できる可能性もあり、一定程度効果が見込める手法ではないかと捉えている。今後調査を進め、全体予算を鑑みながら、学校図書館の整備、充実による児童生徒の読書活動がより豊かになるよう引き続き取り組んでまいります。

子どもたちのために、
読書環境の整備を進めましょう

第6次「学校図書館図書整備等5か年計画」概要資料
(令和4年度～令和8年度)

図書の整備
新聞の配備
学校司書の配置